

# ふくい社会福祉

ふれあいネットワーク

9

No.384



## 温故知新 ～一途に社協道～

### 活気あるまちづくり

手づくりお惣菜じんべえ 店長 林 多恵子 さん（越前町）

2004年10月に築100年以上の自宅を改装し、手づくりのお惣菜店をオープンしました。

子どもの頃は、劔神社の周辺は普段でもとても賑やかで、お祭となれば人が溢れて歩けないほどでした。けれど悲しいことに東京から故郷に戻った時には、その賑わいは消えていました。

劔神社は、越前国二の宮として崇敬されてきた古社で、全国でも有数の歴史のある神社です。でも残念なことに参拝に来られた方が休むところなかったんです。

オープンのきっかけは、もともと料理が得意であったことと地元の人が定年後も働ける場所を確保したいと思ったからです。60歳で定年になっても働く意欲のある人はたくさんいます。特別な仕事でなければ誰にでも働くチャンスがあるのではないかと思います。

働くことによって、日々の生活に張り合いが生まれ、いつも元気でいられます。そして、いつまでも故郷の町が活気あるまちであってほしいので、少しでもそのお手伝いをさせていただこうと思っています。

「じんべえ」では提供するお惣菜のすべてを「現役のおふくろ」が作っています。食材は、四季折々の安心で新鮮な野菜を所以たいので自家菜園で様々な野菜を育てていますが、その菜園の管理は地域の方やシルバー人材センターの会員の方に手伝ってもらっています。

ここ「じんべえ」では、毎日40種類以上のお惣菜をバイキング形式（食べ放題）で食べることができます。もちろん気に入ったお惣菜はお持ち帰りもできます。

また、「じんべえ」ではお席の相席をお願いしています。そのことによって、地元の人や見ず知らずの人が料理のことをきっかけに会話が生まれ、笑顔も生まれるのです。

故郷はいつまでも良いまちであってほしいし、お店に来られた方にもそう感じてほしいと願っています。だから、若者が少なくなったなんて嘆いてはいられません。

これからも地元の人と共に活気あるまちづくりに関わっていきたいと思います。



### 表紙の企画について

様々な人たちの目線から「地域のつながり、人とのつながり」に関するメッセージをいただいています。





# の輪」推進運動実施中！

をつなぐ「おかげさま」と「お互いさま」の輪～

## サマーボランティア体験 2012 も実施中

今年度は、173 のメニューに、337 名（8 月 9 日現在）の方が参加されています。  
昨年に引き続き、プログラムを提供してくださっている岡保保育園の主任保育士 熊田憲子さんに話を伺いました。

**Q** どんなきっかけでプログラムを出そうと思われましたか？

**A** 子どもたちに年齢・性別がいろいろな方たちとふれあってほしいというのが、一番の目的ですが、加えて保育園の仕事を理解してほしいという思いもあります。

**Q** 体験を通じてどのようなことを感じてもらいたいですか？

**A** 当園では、様々なことを子どもたちの世界ですすめていけるように、保育をすすめています。ボランティアに来られたみなさんには、子どもたちの持っている可能性の素晴らしさに気づいてほしいと思っています。そして、できれば保育士の仕事についても理解を深めてもらえたらと思います。

お話を伺った日は、ちょうど仁愛女子高等学校の1年生、宮越さんと宮下さんが体験に参加されていました。おふたりとも保育士を目指しているとのこと、子どもとふれあうボランティアを希望されていたそうです。感想を聞くと、「子どもたちが、自分が思っていた以上にいろいろなことができて、すごいと思った。保育士さんの仕事の大変さがわかった。」という熱意のこもった口ぶりからも、この体験が充実したものだことがわかります。また、「今後もボランティアに参加してみたいですか？」との質問には、「はい！」と爽やかに答えていただきました。

今後、おふたりがこのサマーボランティア体験を通じて感じた、“今、私たちにできること”を大切にしながら活動してくださることを期待しています。

サマーボランティア体験 2012 は、9 月末まで実施しています。  
みなさんもボランティアの“はじめの一步”を踏み出してみませんか？



## 9 月もまだまだつながります！

### ボランティア・カフェ講座

- 日時** ①平成 24 年 9 月 11 日（火）  
13:00～15:00  
②平成 24 年 9 月 23 日（日）  
13:00～15:30

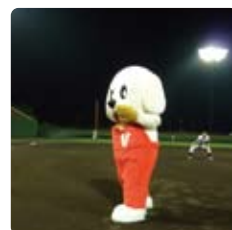
**場所** ボランティア・カフェ（アオッサ 7F）

- 内容** ①バルーンアート@たのしむ講座  
（特技習得）  
②駅前ちょこっと留学@出会う講座  
（国際理解・異文化体験）

### 福井ミラクルエレファント始球式

**日時** 平成 24 年 9 月 23 日（日）18:00（予定）

**場所** 福井フェニックススタジアム  
★福井県ボランティアセンター運営委員会荻原委員長が始球式を行います。  
（福井県ボランティアセンターのマスコットキャラクター『ランティー』も登場します！）





# 「つながれボランティア」

## 「つながれ 80 万人のボランティアの輪」～県民

### エコキャップアートただ今制作中

毎年、たくさんの方々に参加していただいているエコキャップアートコンテストも今年で 3 回目になりました。今回は、第 1 回に引き続き参加して下さっている『福井県立金津高等学校 JRC 部』にお邪魔させていただきました。

金津高等学校 JRC 部は、昭和 62 年に創設された歴史のある部で、現在部員は 21 名、主に障がい児施設や保育園等の施設訪問、エコキャップの収集、また部員のみなさん個人がボランティア活動を行うなど積極的な活動をしてられます。

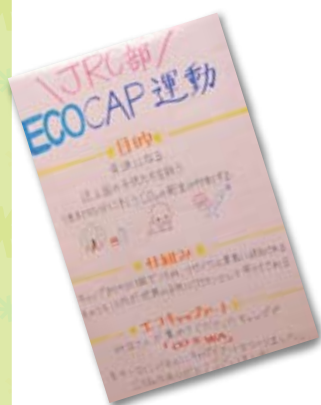
顧問の畠先生と部長の大城さん（2 年生）に話を伺いました。

**Q** このコンテストに参加しようと思ったきっかけは何ですか？

**A** 昨年に比べ部員が増え、できることも増えたので、チャレンジしてみようと思いました。

**Q** キャップはどのようにして集めていますか？

**A** エコキャップの収集には、もう何年も前から取り組んでいます。校内にボックスを設置し、集めたキャップは、ふくいエコキャップ運動委員会に寄付しています。



最後に、「どんな作品にしたいですか？」との質問に、「部員がみんなそろって作業をしたいと思う。入賞しなくてもいいから、この作品づくりを通じて、部員同士が仲良くなるいいと思っています。」と真剣な表情で答えてくれた大城さん。協力しあいながら汚れたキャップをタオルで丁寧に拭いたり、エコキャップ運動の周知ポスターを作っている部員の方々の姿を拝見して、部長さんの思いはしっかり伝わっているのではないかな、と感じました。

金津高等学校 JRC 部のみなさん、作品を楽しみにしています！！

今年のエコキャップアートコンテストも力作ぞろいの作品が集まる予感十分です。みなさん、10 月 13 日のコンテストをぜひお楽しみに！！

### ふくい・つながりフォーラム 2012

**日 時** 10 月 13 日（土）  
13：00～16：00

**会 場** 福井県生活学習館  
（ユー・アイふくい）

**内 容** 1) 式典イベント  
福井県社会福祉大会表彰式、  
ボランティア作文コンクール表彰式  
2) 岩手県陸前高田市 戸羽 太市長による講演会  
3) つながりイベント  
（エコキャップアートコンテスト  
東北応援コーナー  
つながる体験コーナー 等）



戸羽 太 市長

### 第21回 全国ボランティア フェスティバルみえ



9/29(土) 13:00～ 2012 9/30(日) 9:00～  
会場：津市 三重県総合文化センター ●会場：津市内および伊勢市内

主催：第21回全国ボランティアフェスティバルみえ推進委員会  
三重県社会福祉協議会 「ふくいボランティアの輪」連絡会 全国社会福祉協議会  
実行委員会 三重県ボランティアフェスティバル実行委員会  
TEL 059-227-5145 FAX 059-227-5018  
http://www.vfmie1.com/vfmie/

ご来場の方々と一体になれるようなプログラムを計画中です。  
ぜひご参加ください！！

# 人生90年時代へ、敬老の日から見る福井県高齢者の現状

## 1 「としよりの日」→老人の日→敬老の日」の由来

敬老の日は、9月15日を「としよりの日」として昭和22年に兵庫県野間谷村の青年村長、門脇さんの発想を起源として定められたものです。

たった一つの村の行事に過ぎなかった「としよりの日」が、昭和25年には兵庫県の敬老・福祉の県民運動となり、昭和26年には中央社会福祉協議会（現…全国社会福祉協議会）が全国運動を提唱。9月15日から21日までの1週間を運動週間として、「老人を敬い慰め、励ますとともに、老人福祉に対する国民的理解を促進し、老人自身もまたその立場を自覚し、新しい社会建設に参加する」として、家族の間でも高齢者を大切にすべき日だとされました。

その後、「としより」という表現は昭和39年に「老人の日」に改称されたのち、昭和41年に「敬老の日」という国民の祝日になった

ものです。

当初、敬老の日は9月15日と定められていましたが、平成13年の祝日法改正（ハッピーマンデー制度）によって、平成15年からは9月の第3月曜日が敬老の日となりました。しかし、「敬老の日」を移動祝日化することに対して、全国老人クラブ連合会などの高齢者団体から反発が相次いだことで、同年、老人福祉法第5条が改正されて9月15日を「老人の日」、9月15日から1週間を「老人週間」としています。

したがって、現在は、

9月15日・老人福祉法で定める「老人の日」

9月15日～21日・老人福祉法で定める「老人週間」

9月第3月曜日・祝日法で定める「敬老の日」

ということになっています。

## 2 「人生90年時代」に転換く高齢社会対策大綱原案より

平成24年8月2日、65歳以上を一律に「支えられる人」とする現在の定義を改め、意欲と能力のある高齢者の就労を支援するなど「人生90年時代」を前提にした仕組みへの転換を政府が打ち出した。

これは、戦後生まれで人口規模の大きな世代が65歳となり始めた中で「人生65年時代」を前提とした高齢者の捉え方についての意識改革をはじめ、働き方や社会参加、地域におけるコミュニティや生活

環境の在り方、高齢期に向けた備え等を「人生90年時代」を前提とした仕組みに転換しようとするものです。そして、意欲と能力のある高齢者には「社会の支え手」となってもらうことも含めて自立し、人間らしい生活ができる、尊厳のある超高齢社会の実現に向けて社会保障制度に関する具体的な数値目標が盛り込まれています。

この大綱は、政府が定める高齢化対策の中長期指針として、11年ぶりに改定されたものです。

## 3 「敬老の日」に見る本県の高齢者の現状から

本県は、高齢化率が25・1%で全国より3年程高齢化が先行しています。元気な高齢者が多く、平均寿命も全国トップクラスの健康長寿県です。別表のとおり、池田町の高齢化率が40・8%と県内

では一番高く、次に勝山市・大野市・若狭町の高齢化率と続き、一番低い坂井市で22・7%となっています。当面はペースが緩むことなく高齢化が続き、将来推計から県平均が30%を超えるのは平成32



図1：高齢者人口・高齢化率の状況（将来推計）

|              | 県   |     |       | 全国      |        |       |
|--------------|-----|-----|-------|---------|--------|-------|
|              | 人口  | 高齢者 | 高齢化率  | 人口      | 高齢者    | 高齢化率  |
| 平成27年(2015年) | 788 | 223 | 28.3% | 126,597 | 33,952 | 26.8% |
| 32年(2020年)   | 763 | 233 | 30.5% | 124,100 | 36,124 | 29.1% |
| 37年(2025年)   | 736 | 234 | 31.8% | 120,659 | 36,573 | 30.3% |
| 42年(2030年)   | 707 | 233 | 33.0% | 116,618 | 36,849 | 31.6% |
| 47年(2035年)   | 676 | 230 | 34.0% | 112,124 | 37,407 | 33.4% |
| 52年(2040年)   |     |     |       | 107,276 | 38,678 | 36.1% |
| 62年(2050年)   |     |     |       | 97,076  | 37,676 | 38.8% |
| 72年(2060年)   |     |     |       | 86,737  | 34,642 | 39.9% |

県の数値：「日本の都道府県別将来推計人口（平成19年5月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）  
 全国の数値：「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

図2：後期高齢者の割合（福井県）

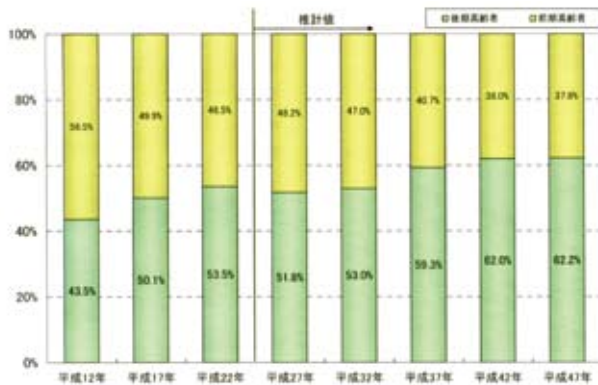


図3：一人暮らし高齢者の状況

|     |   | 平成12年     |             | 平成17年     |             | 平成22年     |             |
|-----|---|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
|     |   | 一人暮らし高齢者数 | 高齢者に占める割合   | 一人暮らし高齢者数 | 高齢者に占める割合   | 一人暮らし高齢者数 | 高齢者に占める割合   |
| 福井県 | 男 | 3,294人    | 4.7% (43位)  | 4,378人    | 5.7% (43位)  | —         | —           |
|     | 女 | 11,496人   | 11.5% (42位) | 13,642人   | 12.5% (44位) | —         | —           |
|     | 計 | 14,790人   | 8.7% (43位)  | 18,020人   | 9.7% (45位)  | 21,356人   | 10.6% (45位) |
| 全国  | 男 | 742千人     | 8.0%        | 1,051千人   | 9.7%        | —         | —           |
|     | 女 | 2,290千人   | 17.9%       | 2,813千人   | 19.0%       | —         | —           |
|     | 計 | 3,032千人   | 13.8%       | 3,864千人   | 15.1%       | 4,791千人   | 16.4%       |

※総務省「国勢調査」

別表：高齢者人口・高齢化率の状況（平成23年10月1日現在・福井県）

|      | 市町の人口   | 年齢不詳  | 65歳以上人口 | 市町の高齢者率  | 県順位   |
|------|---------|-------|---------|----------|-------|
|      | ①       | ②     | ③       | ④(③/①-②) | 高い方から |
| 福井市  | 266,540 | 6,019 | 63,968  | 24.6%    | 12    |
| 敦賀市  | 67,997  | 668   | 15,484  | 23.0%    | 15    |
| 小浜市  | 30,977  | 142   | 8,569   | 27.8%    | 7     |
| 大野市  | 34,637  | 0     | 10,497  | 30.3%    | 3     |
| 勝山市  | 25,166  | 29    | 7,644   | 30.4%    | 2     |
| 鯖江市  | 67,596  | 106   | 15,401  | 22.8%    | 16    |
| あわら市 | 29,697  | 25    | 7,946   | 26.8%    | 10    |
| 越前市  | 85,314  | 234   | 20,703  | 24.3%    | 14    |
| 坂井市  | 91,700  | 219   | 20,723  | 22.7%    | 17    |
| 永平寺町 | 20,543  | 133   | 4,977   | 24.4%    | 13    |
| 池田町  | 2,989   | 0     | 1,219   | 40.8%    | 1     |
| 南越前町 | 11,401  | 0     | 3,394   | 29.8%    | 5     |
| 越前町  | 22,893  | 63    | 6,272   | 27.5%    | 9     |
| 美浜町  | 10,390  | 16    | 3,056   | 29.5%    | 6     |
| 高浜町  | 10,921  | 5     | 2,908   | 26.6%    | 11    |
| おおい町 | 8,542   | 108   | 2,323   | 27.5%    | 8     |
| 若狭町  | 15,913  | 4     | 4,816   | 30.3%    | 4     |
| 福井県  | 803,216 | 7,771 | 199,900 | 25.1%    | —     |

県の数値：福井県の推計人口

年頃とされてます。  
 なお、平成24年8月1日現在の  
 の本県の人口は800,099  
 人、世帯数278,309世帯、  
 この内、65歳以上の老年人口は  
 203,556人となっています。

(1) 高齢者人口・高齢化率の状況（将来推計）（図1）  
 高齢者数は、平成37年頃にピークを迎え、後期高齢者人口では平成42年頃、要介護認定者数では平成52年頃がピークになります。  
 一方、現役世代についてはかなり早いペースで人口減少が続くこ

とから、長期的にも高齢化は一定のペースで進んでいくことが予想されます。

(2) 高齢者に占める後期高齢者の割合（図2）  
 本県の高齢者に占める後期高齢者の割合は、平成17年に50%を超え、その後も上昇が続いています。  
 平成22年では53.5%となっており、全国平均より10年以上進んでいます。

今後数年間は団塊世代が前期高齢者に加わることから、後期高齢者の割合は一時的に減少に転じま

すが、それ以降は上昇していきま

(3) 一人暮らし高齢者の割合（図3）  
 本県の一人暮らし高齢者の割合は、全国平均と比較するとかなり低い水準にあり、高齢者の多くは家族と同居しています。

※「人生90年時代」の今、本県の健康長寿をさらに進めるためには、介護が必要な状態にならない

ようにする健康づくりや介護予防の取り組みの強化が求められています。福井県社協としても、地域に残る絆や繋がりを活かした福井らしいエイジング・イン・プレイスの実現に向け、さまざまな取り組みを積極的に推進していきます。

## 民生委員 児童委員

## 活動しやすい環境づくり ～楽しい定例会をめざそう～

### 「平成 24 年度単位民児協会長・副会長研修会」開催

8 月 8 日（水）、9 日（木）、あわら市「清風荘」において、「単位民生委員児童委員協議会会長・副会長研修会」が開催されました。県内 65 地区から 136 名のリーダーが出席し、「効果的で機能的な定例会の運営」について、講義と実践発表、情報交換会を行いました。

「進行係は順番制で行う」「一期目の委員が多いので毎回座席を変え、誰とでも話し合える雰囲気づくりに努めている」「定例会では必ず事例検討の時間を設けている」など、運営の工夫や配慮について、活発な意見が出されました。



野波会長（敦賀市第3）、田崎会長（坂井市春江町）による実践発表

## ほやほや出前研修

県内4か所で  
始まりました!

県内の社協や福祉施設に出向いて新任職員研修会を開催する「ほやほや出前研修」。

今年度は、モデル事業として、老人・障害・児童・社協の4分野で1か所ずつ実施します。

カリキュラムは、本会の福祉職員生涯研修新任職員研修課程に基づいたプログラムで実施します。

「交替勤務で外部研修に参加できなかったが、出前なら多くの職員が参加できて良い」「仕事仲間とじっくり協議する機会ができて良かった」などのご意見をいただいています。

来年度から本格的に実施できるよう、現在はモデル事業所の協力を得ながら改善点を探っているところです。今号では7、8月に実施した研修の様子（概要）をお知らせします。

### 児童分野 仁愛保育園

7月から月1回：17：00～19：00  
の4回シリーズ。

子どもたちが帰った後の可愛い保育室で夜遅くまで熱心に受講されています。真剣に課題に取り組み、チームワークもばっちりでした！

#### 研修プログラム

コミュニケーション  
チームワークとリーダーシップ  
職場の基本動作（接遇）  
気づきのための面談会



### 社協分野 若狭町社会福祉協議会

8月中に2回：10：00～15：30  
の2回シリーズ。

介護保険事業所のスタッフも多く、職員数は180名の大企業。新任職員も多い中、会長からの「自分が好き、仕事が好き、町が好き、社協職員であれ」との言葉を胸に、研修がスタートしました。

#### 研修プログラム

コミュニケーション  
チームワークとリーダーシップ  
能力開発（自己啓発）  
気づきのための面談会



# WEB経営診断 実践レポート

社会福祉法人慈豊会 山翠苑施設長 田中 淳

## WEB経営診断（全国経営協 開発ツール）を試みた動機

毎年事業環境が変化していくなかで、「日常業務が忙しく、組織の経営、運営を包括的に把握する時間が取れない。」そうした中で簡易的に経営診断をできるソフトがあると話を聞き、また経営協事務局の薦めもあり実施することになりました。

## WEB経営診断の内容

始めに経営層、管理職、一般職の3階層にそれぞれ組織や仕事に対する50設問の意識調査を実施する組織風土診断です。設問内容については、「理念・方針」「職場環境」「コミュニケーション」「人事・キャリアアップ」「処遇・福利厚生・労働安全衛生」の5分野からのものでした。50問ということで一部の職員には負担だという声もあるにはあったようですが、理念やコンプライアンス、人事考課制度の評価基準、福利厚生制度、労働安全衛生など普段は漠然と捉えられがちな基準や規則への良い意識づけの機会となりました。実際、このアンケート調査を機会に就業規則

の内容への問い合わせや福利厚生制度への問い合わせがありました。組織風土診断の集計結果まとめでは、上位10項目と下位10項目が出てくるのですが、当苑では職場環境や理念方針、コミュニケーションにおいてはまずまずでしたが、人事・キャリアアップに点数が低い傾向がみられました。理念等におきましては毎朝朝礼で理念や月間目標の唱和をしていますのでまずまずの成果だったかと思われまます。人事・キャリアアップへの不満は、人事考課制度へ対する釈然としない思いがうかがえました。

次に経営に係るガバナンスやコンプライアンス、サービス管理などの各領域における67設問のチェックリストですが、こちらは漠然として抽象的な設問もあるように感じられました。したが、当法人として当然作っているつもりでいたコンプライアンスに関する規程や公益通報者保護法に規定されている窓口の明記などがなかったことに気が付かれました。まさしく弱点の分析に役がつかれました。

最後に財務分析ですが、こちらの中にある効率性の指標で「介護・看

護職員一人当たり、何人の利用者の割合で職員が配置されているか」という「介護・看護職員一人当たりの利用者数」の指標があり、その中央値が1.9人に対して当苑が2.4人という結果に重度高齢化への現状を感じました。

## 診断結果を今後どう生かしていくか

診断結果を受けて、早速コンプライアンス規程の作成などに取り掛かりましたが、会計事務所や社会保険労務士などと話をするよい機会にも

なりました。今回のWEB経営診断では、WEB上で何時でも、内容によっては何回でも経営の課題をチェックでき、今後社会福祉法人としてどうあるべきかを鑑みる大変良い機会となりました。



## 楽・らく介護講座 4回シリーズ

福井県介護実習・普及センターでは、一般県民の方々を対象に介護講座を開催します。

介護する側もされる側も少しでも「らく」に過ごせるように一緒に介護の方法、福祉用具について学びませんか？

### ★調理の工夫と食事の介助

安全に食事できる工夫を学びましょう！

福井会場 9月25日（火） 13:00～15:30  
嶺南会場 9月11日（火） 13:00～15:30

### ★体の拭き方・部分浴・着替え等

自宅で簡単にできる保清の方法を学びましょう！

福井会場 10月23日（火） 13:00～15:30  
嶺南会場 10月22日（月） 13:00～15:30

### ★腰痛にならないための体の起こし方

起き上がり、立ち座り等、負担の少ない方法を学びましょう！

福井会場 11月15日（木） 13:00～15:30  
嶺南会場 11月14日（水） 13:00～15:30

### ★気持ちのよい排泄のお世話

オムツの種類やすばやく行えるコツを学びましょう！

福井会場 12月18日（火） 13:00～15:30  
嶺南会場 12月 7日（金） 13:00～15:30

### お問い合わせ・お申込先

福井県介護実習・普及センター

〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22 福井県社会福祉協議会 すこやか長寿課内  
TEL: 0776-24-0086 FAX: 0076-24-0063



スマイル

# 未来に笑顔



## Profile

山本 千春 さん

(福) ふくい福祉事業団  
若越ひかりの村  
生活支援員 5年目

このコーナーでは、「笑顔 (スマイル)」をキーワードに福祉職の方々に登場いただき、福祉の現場で活躍しているからこそ『見える』『言える』、福祉の魅力について語っていただきます。

## 施設実習で障がい者支援に関心

保育士を目指して短大に入学しましたが、資格取得のために施設実習に行くことになり、保育園をはじめ、いろいろなところで実習をさせてもらいました。特に障がい者施設の实習では、意思疎通が困難な利用者への支援を通じて、支援員がさまざまな情報や行動観察をすることで、利用者のニーズに近づけていくようにしている姿を目の当たりにし、その難しさを感じながらも自分もこの仕事に携わりたいとの思いを強くしました。

家族は福祉の仕事に就くことについて、反対こそしませんでした。勤務が不規則であることや、障がいに対しての不安もあったようです。しかし、職場での様子を話すことで不安も無くなり、今では良き理解者になってくれています。

## 先輩職員の対応の素晴らしさに感動

自分の力不足が原因で支援が上手くいかず、利用者に笑顔で接することができなかったこともあります。

支援について悩み、先輩職員に相談するつもりが「こんなに色々支援をしているのに、どうして上手くいかないの!」と感情的になってしまったこともあります。

先輩職員は利用者への何気ない一言

で最善な方向へ導くことができません。私にはまるで「魔法の言葉」のように思えます。ただ、先輩職員の言葉かけをそっくりまねて

も、利用者との信頼関係がないと上手くいかないことも学びました。そして、私の支援は「自分本位の支援」であり、利用者が発している情報等を察知できていないことに気づかれます。

毎日が失敗の繰り返しで、帰りの車の中で「ひとり反省会」をしながら家路につくこともしばしばです。

## 今の目標

今後でもできるだけ多くの人と関わり、見聞を広げたいと思っています。そして、知識や技術を身につけて利用者への支援に役立てたいと思っています。

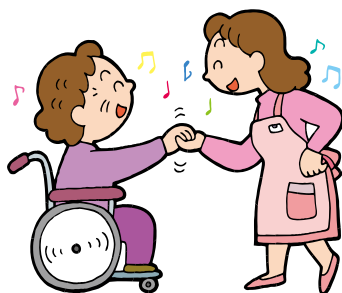
目標は身近にいてくれる「先輩職員」です。利用者とお互いに信頼、信用ができる関係づくりに努めたいと思っています。



## 笑顔の素

### 笑顔の素

言葉が通じなくても、表情に気持ちが表れているのがわかります。利用者が笑顔でいてくれると、どんなに忙しくても自分も笑顔でいられます。



### 取材を終えて

音楽療法の活動を見学させていただきました。輪の中心で活動する山本さんは、素敵な笑顔とともに、みんなに元氣も振りまいているように見えました。気分も、自然体で利用者さんと接し、活動中も目配りや気配りも欠かさないその姿に感動しました。